

平成28年度に係る業務の実績に関する評価結果  
国立大学法人兵庫教育大学

## 1 全体評価

兵庫教育大学は、教員の資質能力の向上と学校教育の改善を求める社会的要請に応えるため、「現職教員に対する専門職として高度な専門性と実践的指導力の育成」「実践力と人間性に優れた新人教員及び心理専門職の養成」「学校教育に関する理論と実践を融合した研究（教育実践学）の推進」「教員養成・研修の先導的モデルの構築」「教育研究成果の発信」を使命としている。第3期中期目標期間においては、教員養成・研修の高度化を最重要課題とする中核的な機関として、学校現場に密接に関連した実践的な教育研究を行うことを基本的な目標としている。

この目標の達成に向け、学長のリーダーシップの下、自治体及び教育委員会と連携した現職教員研修や、先進的な英語教育の展開を目的とした実証研究を推進するなど、「法人の基本的な目標」に沿って計画的に取り組んでいることが認められる。

### （「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の取組状況について）

第3期中期目標期間における「戦略性が高く意欲的な目標・計画」について、平成28年度は主に以下の取組を実施し、法人の機能強化に向けて積極的に取り組んでいる。

- 教員就職率を維持するため、教職キャリア開発センターにおける就職・キャリア支援の新たな取組として、近年教員採用試験において英語資格に対する加点制度を導入する自治体が増加していることを踏まえて、TOEIC対策セミナー等の英語力向上や英語資格取得に資する支援を実施している。（ユニット「全国最大規模の教職大学院をさらに拡充し、卓越教職大学院へ」に関する取組）
- 教員養成の高度化を推進するナショナルセンターの機能を有する教員養成高度化実践センター（仮称）の設置に向けて、現職教員の資質能力の向上に資する新たな教員研修プログラムを開発するため、独立行政法人教職員支援機構との連携協力に関する協定を締結している。（ユニット「教師教育の実践と研究における全国拠点（ナショナルセンター）並びに地域拠点（リージョナルセンター）」に関する取組）

## 2 項目別評価

## &lt;評価結果の概況&gt;

	特 筆	一定の 注目事項	順 調	おおむね 順調	遅れ	重大な 改善事項
(1) 業務運営の改善及び効率化			○			
(2) 財務内容の改善			○			
(3) 自己点検・評価及び情報提供			○			
(4) その他業務運営			○			

## I. 業務運営・財務内容等の状況

## (1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標

①組織運営の改善 ②教育研究組織の見直し ③女性の活躍・男女共同参画 ④事務等の効率化・合理化

## 【評定】中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載11事項全てが「年度計画を十分に実施している」と認められるとともに、下記の状況等を総合的に勘案したことによる。

平成28年度の実績のうち、下記の事項が注目される。

## ○ ニーズ調査に基づく女性教職員にかかる支援体制の改善

女性教職員の育児支援体制を改善し女性の活躍を推進するため、全教職員を対象に男女共同参画関係施策に関するアンケート調査を実施している。調査の結果、各種支援制度の周知が必要との回答が半数以上であったことを受けて支援に関するウェブサイトの改善を図るとともに、事務職員の8割以上が支援制度の利用促進には職場の理解・協力が必要と回答したことを受けて参加型の研修を実施し職場環境における意識改革を促進するなどの取組を実施しており、女性管理職割合が16.7%と教員養成大学の中でも高い割合になるといった成果が現れている。

**(2) 財務内容の改善に関する目標**

①外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加 ②経費の抑制 ③資産の運用管理の改善

**【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる**

(理由) 年度計画の記載5事項全てが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

**(3) 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標**

①評価の充実 ②情報公開や情報発信等の推進

**【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる**

(理由) 年度計画の記載3事項全てが「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

**(4) その他業務運営に関する重要目標**

①施設設備の整備・活用等 ②安全管理 ③法令遵守等

**【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる**

(理由) 年度計画の記載7事項全てが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

## Ⅱ. 教育研究等の質の向上の状況

平成28年度の実績のうち、下記の事項が注目される。

### ○ 教職への就職に向けた多様な支援の実施

学生への就職支援として、教職への意識高揚を図ることを目的とした合宿型の研修を学部3年次の学生を対象に実施するほか、小学校等の教員採用試験において英語有資格者への加点制度を取り入れる自治体の増加を受けて該当自治体についての情報提供や英語力向上講座を開催するなど、教職への就職に向けた多様な支援を実施している。

### ○ 自治体及び教育委員会と連携した現職教員研修等の実施

各地の教育委員会や自治体等との教員人事交流について、人事交流終了後の活動状況を把握するため、県内外の12の派遣教育委員会の人事交流担当者に対する聞き取り調査や人事交流経験者へのアンケート調査を実施している。このほか、現職教員研修のあり方について教育委員会等と進めてきた議論の蓄積を生かし、兵庫県教育委員会等と連携して新たに研修プログラムモデルを開発するなど、自治体及び教育委員会と連携して教員養成の高度化に取り組んでいる。

### ○ 先進的な英語教育の展開を目的とした実証研究の推進

「中学校・高等学校における英語教育の抜本的改善のための指導方法等に関する実証研究事業」では、研究協力校（高等学校4校、中学校3校）を選定し、各校での生徒の英語学習に対する動機付けや認識の変化を把握するためのアンケート調査及び英語4技能の運用力テストを実施し、両者の相関関係等を分析している。